

=====

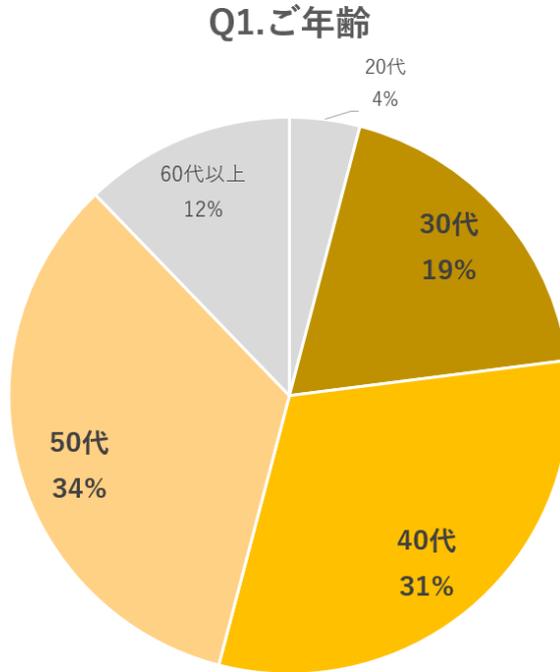
〈20～60代の女性医師へ働き方に関するアンケートを実施！
58%が希望する働き方と現在の働き方にギャップありと回答〉

=====

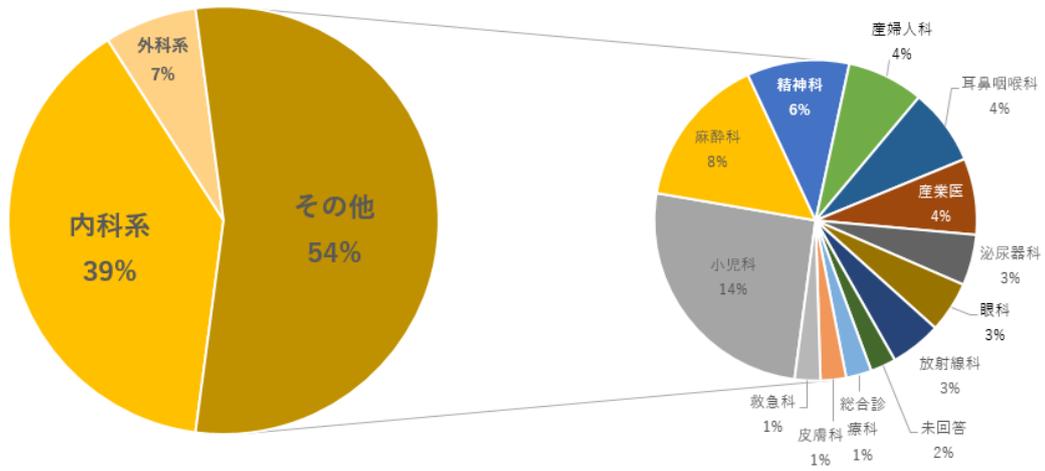
女性医師の数が年々増加傾向にある中、働き方に悩む女性医師も多くいらっしゃいます。
ドクタービジョンでは女性医師のキャリア形成を支援しており、女性医師の働き方の実態を探るべくアンケートを実施しました。

弊社にご登録がある20～60代の女性医師の方々へアンケートを実施し、大変多くの先生方よりご回答をいただきました。(調査期間:2025年2月27日～2025年3月10日)
この資料では、アンケート結果を詳しくご紹介させていただきます。

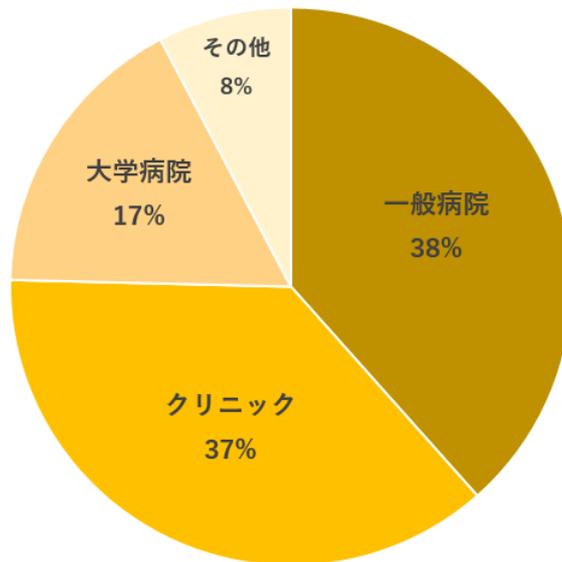
【アンケート結果】



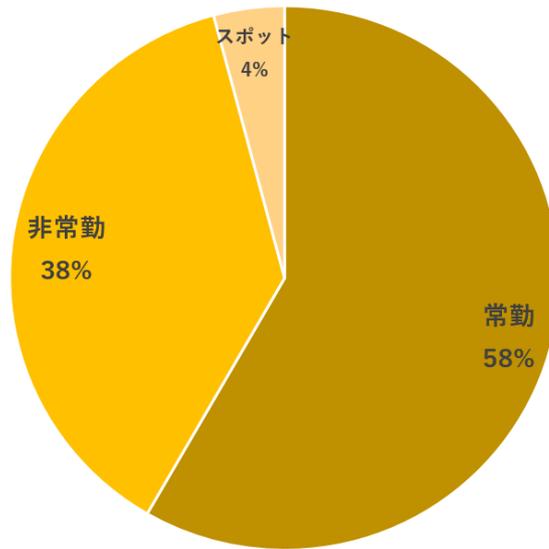
Q2.ご専門科目



Q3.ご勤務先の種類

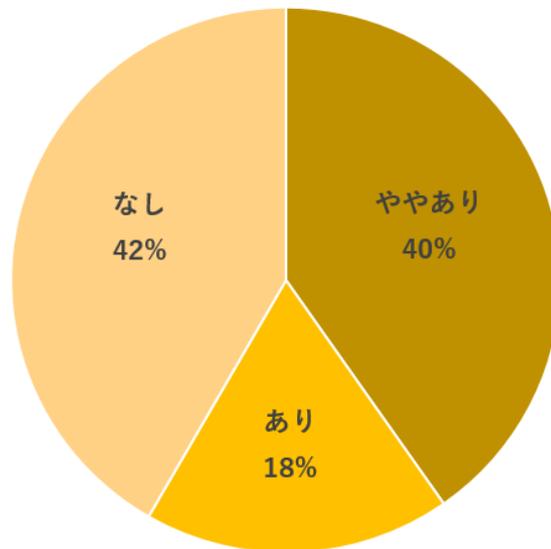


Q4.ご勤務形態



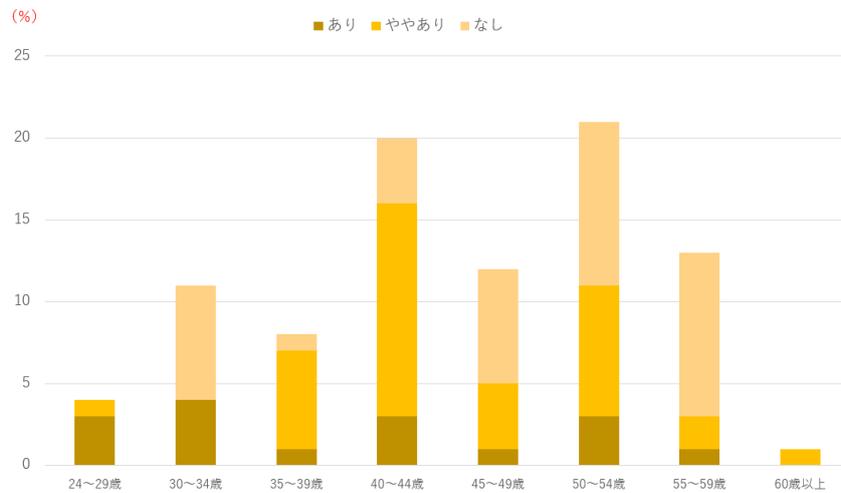
Q5.自身の希望する働き方と現在の働き方に何かギャップはありますか？

・回答全体



Q5-1.自身の希望する働き方と現在の働き方に 何かギャップはありますか？

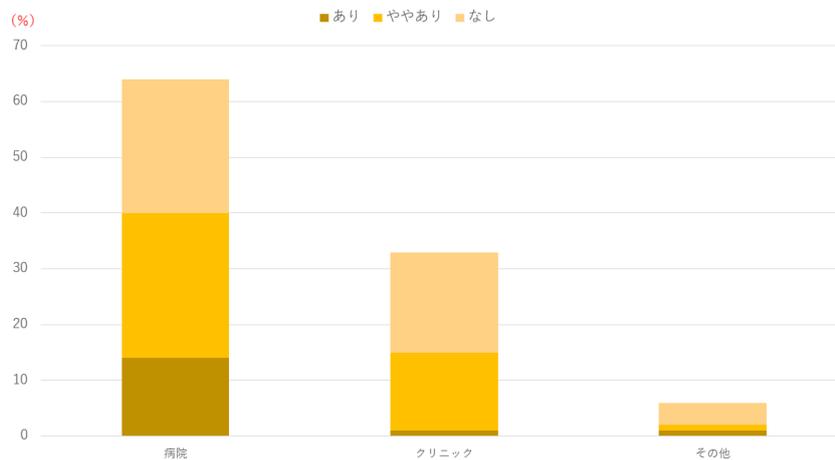
・年代別



年代別に見ると、30代後半～40代前半でギャップがあると回答した割合が最も多くなっています。一般的に女性の就業率は35～39歳が一番低くなっており、結婚・出産・育児で離職する女性が多いと言われています。そのような傾向があるなかで、勤務を継続している同世代の女性医師の多くが希望する勤務条件とのギャップがあると感じているようです。

Q5.自身の希望する働き方と現在の働き方に 何かギャップはありますか？

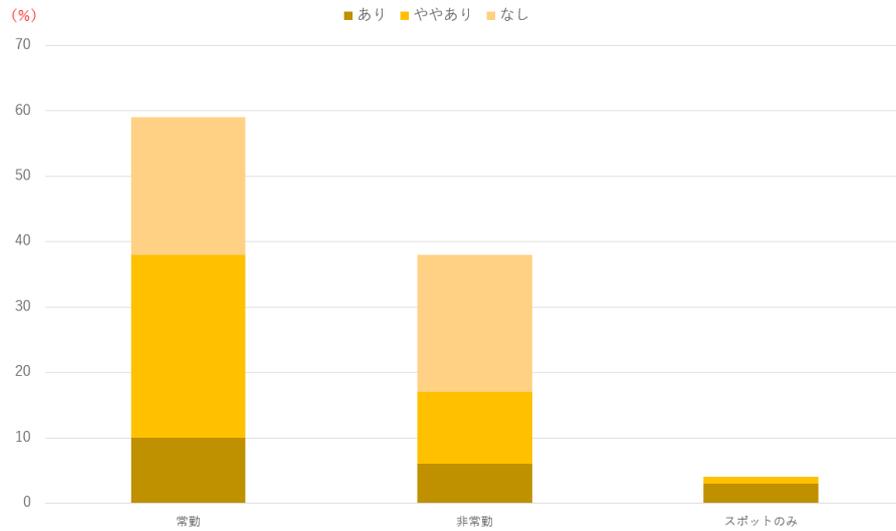
・勤務先別



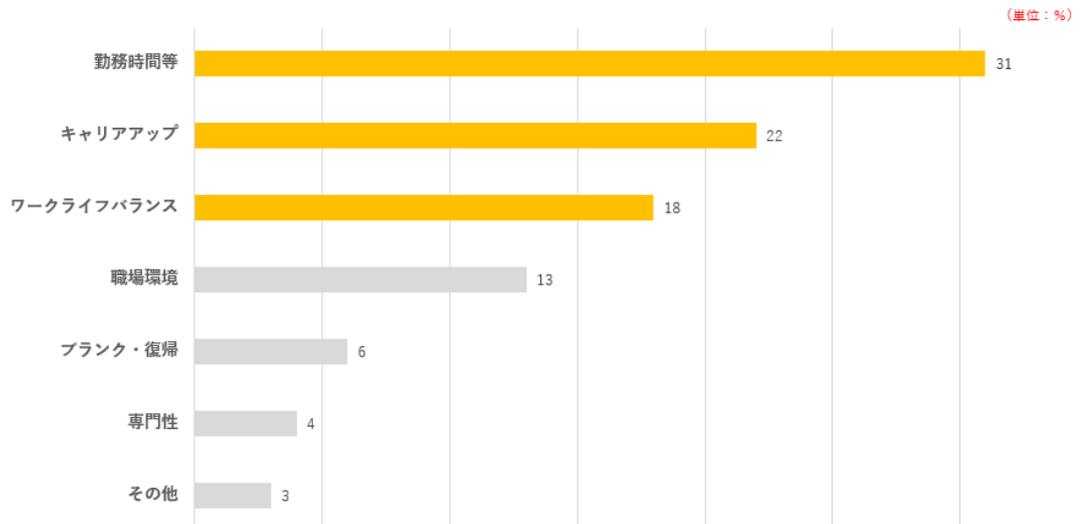
ギャップを感じているのはクリニックより病院で勤務している、非常勤より常勤で勤務している女性医師の方が多くなっています。

Q5.自身の希望する働き方と現在の働き方に何かギャップはありますか？

・雇用形態別



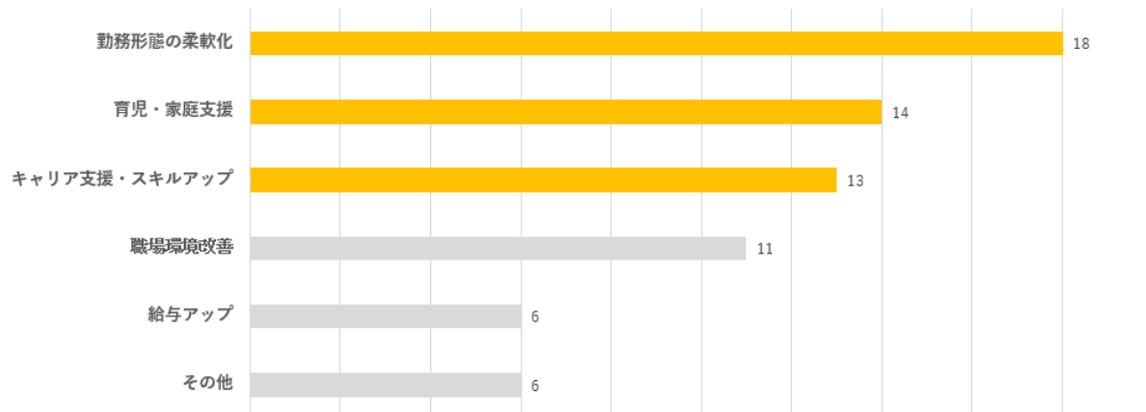
Q5①.ありの場合：どのようなギャップですか。



具体的なギャップに関する内容としては、31%の医師が勤務時間等に関してギャップを感じているという結果となりました。キャリアアップに関してギャップを感じているという回答も22%ありました。

Q5②.ありの場合：どのようなサポートや制度があれば
希望の働き方に近づけそうですか。

(単位：%)



Q6.勤務するうえで実際に活用している
サポートや制度などはありますか？

※降順

- ・特になし(24件)
- ・病児保育(6件)
- ・シッターサービス・ベビーシッター(5件)
- ・ファミリーサポート(2件)
- ・実家のサポート(2件)
- ・時短勤務(2件)

など

サポート制度を利用していない方が一番多い(24件)という結果になりました。

一方でサポート制度を利用している女性医師の中では、子育てをしながら勤務を継続する為のサポートを活用しているという回答が多数を占めています。

Q7.お仕事を探される際に重要視していることは何ですか。
具体的なエピソードもあれば教えてください。

※降順

- ・給与(12件)
- ・勤務時間(11件)
- ・通勤時間(9件)
- ・子育てや家庭との両立(8件)

など

給与を重視する方が一番多い(12件)結果となりました。

その他は勤務時間や通勤時間など勤務後も変わらない条件、次に子育てや家庭との両立を重視するという回答が多い結果となりました。

【まとめ】

今回のアンケートでは、58%の女性医師が希望する働き方と現在の働き方にギャップがあると回答しました。働き方改革や育児・介護休業法改正で医療機関側も労働環境の見直しを行っていますが、まだまだ十分な改善に至っていないのが現状のようです。

ドクタービジョンでは女性医師へのキャリア支援を目的にプロジェクトを立ち上げ、様々なご支援をさせていただいております。現状の働き方にお悩みの方はぜひお気軽にお問い合わせください。